

脳パズル

A.36

問題は27マスにあります。

○	○	×	×	○	×	○	○	○
○	×	○	×	×	×	○	×	○
×	×	○	×	○	○	○	×	×
×	×	○	○	×	○	×	×	○
×	○	×	○	×	×	○	○	○
○	○	×	○	○	×	○	×	×
×	○	○	×	×	×	○	×	○

今回は、論理的推理力のアップが期待できる問題を出題しました。先を読みながら考える力は、日常生活の中で起こる問題の早期解決へとつながります。



市長日記

Vol.117



先月ご紹介しました「GO!G O!ラリー」は、天候にも恵まれ、人吉でのチェックポイントである人吉駅と青井阿蘇神社前、ふるさと歴史の広場には、多くの方にお越しいただき、また、両日ともに沿道から温かい声援を送っていただき、ありがとうございます。

光栄なことに、青井阿蘇神社の禊橋で、唐沢さん・山口さんと対談させていただきました。私からは令和2年7月の水害の様子とその後の復旧・復興状況を説明させ

ていただき、お二人からは、激励の言葉とともに、「今回のコースは山や海の景色が素晴らしく、道中とても気持ちよかったです。人吉のまちとクラシックカーがマッチして、とても良い雰囲気だった」とのお言葉を頂きました。また、参加者の皆さまも、とても喜んでいただけたとのことです。このことは大変うれしく、発起人の唐沢さんをはじめ関係者の皆さまに感謝申し上げます。来年もぜひ開催していただきたいと思っております。

まち美化通信

Vol.1

問 市環境課廃棄物対策係 (☎22-2111 内線2071)

月に一度の清掃が生む地域のつながり

下原田町字嵯峨里町内では、毎月第1日曜日の朝に町内清掃を続けています。参加の対象は町内全ての世帯。無理をせず、参加できる人ができる範囲で協力しながら取り組んでいます。道路の草刈りや側溝の掃除、公民館の掃除などが主な活動で、公民館の清掃は班ごと(1~5班)の持ち回りです。午前6時30分~7時ごろにそれぞれの班で清掃を始め、7時30分には公民館に集まって情報共有を行い、活動を終えます。

この清掃活動の目的は、町内をきれいに保つことだけではなく、もう一つの大切な目的が住民同士が顔を合わせ、交流することです。月に一度集まる機会があることで、「元気にしとったな」と自然に声をかけ合える。そんな何気ないやり取りが、地域の安心にもつながっています。高

下原田町字嵯峨里町内会
会長：永田正昭さん

齢が進む中、普段はなかなか見に行けない家の様子も、この場があることで自然と分かるので、町内清掃は見守りの機会にもなっています。毎月1回のこの時間が、同町内のつながりと安心を守っています。



兼業農家も多いため朝早くから実施



最後の情報共有の時間は大切なひととき

災害への防災意識や命を守る方法のお話を紹介します。

備えて安心! No.7 やさしい 防災講座

災害時の安否確認と連絡方法

大きな災害が発生したときに心配になるのは、離れている家族や友人、知人などの安否です。

災害直後は一般の電話がつながりにくくなります。事前準備として、電話以外にどのような手段で連絡を取り合うか、なるべく複数の方法を決めておきましょう。

NTTや携帯電話会社では、災害時に「伝言ダイヤル」や「伝言板」が開設されます。事前に確認しておきましょう!



問 市防災課防災係 (☎22-2111 内線3241)

家族に知らせてもらう「逃げなきゃコール」

近年の大規模な風水害では、高齢者が避難をしなかったために被害に遭うケースが少なくありません。避難の必要性やタイミングがよく分からない高齢者の皆さんは、離れて暮らす家族などに「逃げなきゃコール」を登録してもらい、家族などから連絡があったら、早めに避難しましょう。



詳しくはこちら

避難スイッチを決めておきましょう

「避難スイッチ」とは、住民が自らの判断で避難を始める基準を決めておく取り組みです。市や気象庁の避難情報だけでなく、近くの河川や裏山など周囲の環境異変や近所の様子、声かけなどを基準にして判断します。事前に、家族や地域で話し合い、避難のタイミングを決めておきましょう。



Let's お手話ベリ

Vol.14

モデル：梅田シズ子さん

雨

両手の指先を下に向け、両手同時に上から下に2回下ろす。雨がザーザー降っているイメージ



危ない

右手の人差し指と中指を立て、頭の横に添え、斜め下に下ろす。緊急時や注意を促すときに使う



監修：熊本県手話サークルわかぎ人吉・球磨グループ

問 市福祉課障がい者支援係 (☎22-2111 内線1244)

過去の連載はこちら

